

第40章 (H12. 7. 10)

送信者: 高知県四万十川対策室

tel(088)-823-9795 fax(088)-823-9296 e-mail s14102@ken.pref.kochi.jp

四万十大使に畠山重篤さん就任

「四万十川物語」読者の皆様、こんにちは。

前回予告しました「こどもを川にもどす提言」の予定を変更し、今回は「四万十大使に畠山重篤さん就任」をお伝えします。

宮城県気仙沼で、牡蠣の養殖をされている皆さんでつくる「牡蠣の森を慕う会」代表の畠山重篤（はたけやま しげあつ）さん。高知県は、畠山さんに四万十大使を新たにお願ひしました。畠山さんは、海に注ぎ込む川、さらにその上流の森の働きが海の生き物を育てていることに気づき、「森は海の恋人」運動を展開されています。県境を越えた植樹活動を12年間続けられる傍ら、上流域の子どもたちを海に招き、環境教育の体験学習も行うなど、幅広い実践活動を行っておられます。



今回の四万十大使就任は、四万十川フォーラム21（平成8年：中村市）にパネラーとしてご参加いただいたことや、宝酒造さんと官民一体で展開してきた「四万十川の清流を守ろうキャンペーン」のなかで、清流の森づくりに対するエールをいただいたことをきっかけに実現したものです。

ご夫妻で出席いただいた6月21日の就任式では、橋本知事から委嘱状と大使の名刺をお渡しして今後のご支援をお願いしました。畠山大使から「どんな川が流れているかは、そこに住む人々の民度を示す。」といったご指摘や「川の環境を守っていくためには森や海を含めた全体への視点が必要。四万十川河口で漁業をする人やホエールウォッチングをする人たちに呼び掛け、連携できれば…」との抱負が、また、橋本知事からは「畠山さんのこれまでの経験やノウハウを四万十川に教えて欲しい」などといった話がありました。

四万十大使は、俵万智さん、宮崎美子さん、山本容子さん、椎名誠さんに続いて5人目の大使となります。

トピックス

○四万十川一斉水質調査

「四万十川の日(7月25日)」の記念行事として、7月3日から7月中旬にかけて、四万十川本流及び支流73箇所において、四万十川流域8市町村の小中学生約300人(22校)による水質調査が行われます。

主催・お問い合わせ先:(財)四万十川財団 電話:0880-29-0200

次回(7月23日発信)は『森は海の恋人』を予定